

科目名	映像リテラシー A 1							年度	2025
英語科目名	Image Literacy A1							学期	前期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	田村晋一	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】 様々なジャンルの映像制作の仕組みと過程を知り、その基本である企画力と構成力を身につける。また撮影準備や現場での撮影においてどのようなことに注意すべきかを知ることを目的とする。知識だけを学ぶだけではなくグループワークなどの課題を通して能動的に思考する力を身につける。									
【科目の概要】 TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。									
【到達目標】 映像技術として『電気』は、必要不可欠のものであり、その基礎となる『電気』から、映像にとって重要である、『色』・『光』などを理解する。また、『光』に関しては、照明機材の特徴や照らし方、電球の特徴なども学び、より映像にとって、必要な知識を学ぶ。									
【授業の注意点】 適宜課題を提出してもらおう。課題には毎回締切を設け、締切を過ぎた課題提出は認めない。また理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。そして授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力						
到達目標 A	照明だけでなく、様々な事に興味を持ちそれらが、照明にも関連する事を理解できる。	映像における照明の位置づけを理解している。	照明の効果が明るくすることでは分からない。						
到達目標 B	照明における電気の重要性を理解している。	照明における電気の知識がある。	照明と電機に関連性が理解できない。						
到達目標 C	「色」と「光の色」の関係を理解している。	色の三原色と光の色〔光の三原色など〕の違いと特徴を理解している。	色の特徴〔色の三原色など〕を理解できる。						
到達目標 D	様々な照明のスポットライトの特徴による、より効果的な使用方法などを理解している。	照明のスポットライトの効果を理解している	照明のスポットライトの特徴が理解できない。						
到達目標 E	照明デザインを理解し、音源に対して、より効果的に照明デザインが出来る。	照明デザインを理解し、音源に対して、照明デザインが出来る。	音源に合わせて、照明デザインをする事が出来る。						
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		映像リテラシー A 1			年度	2025
英語表記		Image Literacy A1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	電気とは①	身の回りで使用されている電気を理解する。	1 電気とは？	発電から家庭・施設などの送電を理解する。	3	
			2 電気の特徴	交流・直流、周波数などを理解する。		
5	電気とは②	業界で必要な電気の知識を理解する。	1 電気の計算	電圧・電流・電力、の関係や方程式を理解する。	3	
			2 身の回りの電気	家庭用コンセントやスマホの充電など、		
				どのような関係があるか理解する		
3	光と色	光の特徴し、色による効果を理解する。	1 光の特徴	光の単位、直進・反射・屈折などを理解する。	3	
			2 色の三原色、光の三原色	色の三原色、光の三原色や色温度について理解する。		
4	スポットライト・電球の種類と特徴	業界で使用するスポットと電球の理解。	1 スポットライトの種類・特徴	映像照明で使用する照明の特徴などを理解する。	3	
			2 電球の種類・特徴	スポットで使用する電球〔光源〕の種類・特徴を理解する。		
5	中間理解度確認	1-4の確認	1 小テスト	小テストをし、1～4回目の確認し、理解できなかった箇所を	3	
				学び直す。		
6	コネクタと光の方向と分配	家庭から業界で使用されているコネクタと光について理解する。	1 コネクタの種類・特徴	照明で使用するコネクタの種類・特徴を理解する。	3	
			2 光の方向と分配	光の照射角度によって感じる印象を学ぶ。また、映像照明に必要な三点照明を理解する。		
7	スポットライトと調光卓とDMXの関係	スポットライトと調光卓とDMXの関係を理解する	1 調光卓で照明を操作するには。	スタジオ照明における、調光システムを理解する。	3	
8	LEDやムービングライトの種類と特徴	近年、標準となっているLEDやムービングライトの種類と特徴を理解する。	1 LEDとムービングライトの種類と特徴	LEDやムービングライトの構造や特徴などを理解する。	3	
9	ネットワーク	業界で必要とされているネットワークの最低限の知識を理解する。	1 身の回りのネットワーク	照明だけではなく、音響やリモートカメラなどでも	3	
			2 業界で必要なネットワーク	使用されているネットワークの基礎を理解する。		
10	中間理解度確認	6-9の確認	1 小テスト	小テストをし、6～9回目の確認し、理解できなかった箇所を	3	
				学び直す。		
11	ipadによるライブ照明のデザイン①	ipadを使用してライブ照明の仕組みを理解しデザインする。	1 「譜割り」について	楽曲の構成から照明デザインの組立て方を理解する。	3	
				照明アプリを使っでの使用の仕方を理解する。		
12	ipadによるライブ照明のデザイン②	ipadを使用してライブ照明の仕組みを理解しデザインする。	1 各自プログラム	各グループでライブ照明を作成する。	3	
13	ipadによるライブ照明のデザイン③	ipadを使用してライブ照明の仕組みを理解しデザインする。	1 各自プログラム	各グループでライブ照明を作成する。	3	
				作成した映像を提出する。		
14	ipadによるライブ照明のデザイン④	ipadを使用してライブ照明の仕組みを理解しデザインする。	1 発表	提出して作品を発表し、学生投票で上位者を決める。	3	
				他の作品と比べて良い部分・改善するポイントを学ぶ。		
15	定期試験対策	半期で学んだ事の復習確認	1 1～14回までの復習	総復習	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等